

雪のふるまちを… あざみの歌… 森の水車…

あの頃

みんなで聴いた。

一緒に歌った。

ラジオ歌謡

みんなで歌ってみませんか？

GO オペラ合唱団ファミリーイベント

「江古田でラジオ歌謡のうたごえを！」

場所: マザーグース イートインスペース『フェアリーテイルズ』

4月16日のみ スタジオ・フェルマータでの開催

5月14日 28日 6月11日 25日

全て火曜日 14:00～16:00 (13:30より受付)

創業103年、老舗パン屋さんマザーグースにて。
イートインスペースにあるグランドピアノで、
皆さんと一緒に歌いましょう！

自由席 1,000円/回 (毎月3～4回開催)

- ☆≡ マザーグースでの開催は美味しいパンのサービス付！
- ☆≡ **予約は要りません！到着順に受付致します。**
- ☆≡ 4月16日は別会場(決まり次第お知らせ)
となり、パンサービスはございません。

提供: (株)ゲイツオンホールディングス エンターテインメント事業部

協力: 工藤雄一(一般社団法人ラジオ歌謡研究会代表理事・会長)

マザーグース(創業103年老舗パン屋さん)



ラジオ歌謡とは

「健全な歌で、国民の音楽文化の啓発を」の目的で始められた番組。

発案はNHK大阪中央放送局であったが、やがて東京放送局でも放送されるようになり、800曲近い曲を放送した。

「風はそよかぜ」でスタート、その後、「朝はどこから」、「三日月娘」、「あざみの歌」、「山小舎（やまごや）の灯（ともしび）」、「さくら貝の歌」、「森の水車」、「雪の降るまちを」など、現在も叙情歌として親しまれている作品が数多く発表された。1953年には当時16歳だった美空ひばりが登場し「あまんじゃくの歌」を歌っている。

< 講師 >

吉田拓人(指揮者、バスバリトン歌手)

練馬区光が丘出身。

都立青山高校を経て国立音楽大学を声楽で卒業、指揮者コースにて学ぶ。

オーケストラアンサンブル金沢指揮者講習会にて井上道義氏に学び、

優秀者コンサートに出演。

30作品を越えるオペラレパートリーを持ち、首都圏近郊にて活躍中。

また歌手としても活躍。

すみだオペラ合唱団指揮者、やまと国際オペラ協会会員、GOオペラ合唱団統括指導責任者。

ゲイツオンホールディングス エンターテインメント事業部属。

自由が丘のイタリア料理店 BABBO ANGELO で定期的にステージを重ねている。

ラジオ歌謡を歌い継いでいく

戦後の日本を元気にしたものの、それは「歌」でした。

ラジオから聴こえてくる **800** 曲あまりの歌を聴き、

毎日の「活力」として、現代日本の礎となりました。

その**歴史的文化遗产**が、失われつつあるのは大変嘆かわしいことです。

秋田県に住むラジオ歌謡研究家**工藤雄一**さんにより蘇ったラジオ歌謡を、

皆さんと一緒に歌い継いでいきましょう！

※私達は政治や宗教を目的とした活動は行いません。

※活動は、月2～3回のペースで行います。日程は以下をご覧ください。

2月 5日・12日・19日・26日 5月 14日・28日

3月 5日・12日・19日 6月 11日・25日

4月 16日（別会場にて開催）

お申込・お問い合わせ：eventicket@gateson-holdings.com

050-6874-4076/070-1368-4099/080-4602-3340